

# 図録「農家とくらし」について

長野市立博物館長 掛川 一 夫

当館では、常設展示の概観性を補うために学芸員の研究の成果を、企画展示という方法で、過去14回にわたり展示してきました。

今回は家をめぐる民俗を主題にして、周辺から広く県内の特徴的な資料を収集し、農家の家造りと、生活の様子を展示しました。

この図録は、失なわれつつある資料を一件でも多く集め、報告することを目的に編集しました。御協力いただいた多くの方々にここで感謝申し上げます。

## 目 次

I 近世民家の系統と発展	1
II 住まいと生活	10
III 居住習俗の調査—住まいにみる地域性(29調査地点の事例研究)—	16
IV 信仰習俗の調査—長野盆地における屋敷神信仰—	55
1 長野市にみられる屋敷神の概観	56
2 長野市にみられる屋敷神祭祀の諸相	61
V 建築習俗の調査—屋根職人にみる技術—	67
1 茅を葺く	67
2 板を葺く	74

## 例 言

1. 本書は第15回企画展「農家とくらし」における調査研究の記録をまとめたものである。
2. III章居住習俗の調査のうち、調査地点17～29までの北安曇郡の事例は全て、青木治氏（穂高町郷土資料館長）の調査によるものである。また写真資料も青木治氏撮影及び所蔵のものである。先生の御好意に厚くお礼申し上げます。
3. I章及びII章は玉稿を賜りましたが、その他の執筆分担は以下の通りである。  
( III章—山口明・安室知 )  
( IV章—安室知 )  
( V章—山口明 )
4. III章の北安曇郡関係の事例解説は、『北安曇誌第5巻近代現代下』より、著者（青木治氏）及び郡誌編さん委員会の了解のもとに、転載させていただきました。
5. この展示の調査研究に際し、各地域で大勢の方々にお世話になりました。御名前は逐一記しませんが、厚く御礼申し上げます。